



島尻の石墓

指定名称 しまじり いしばか 島尻の石墓（町指定史跡）
 員数 2基
 所在地 久米島町字島尻クサト原169-1
 指定年月日 昭和47年9月2日（旧仲里村指定）
 所有者 久米島町

字銭田から字島尻に至る海岸沿いの旧道路右上の丘の上に風変わりな石積み
 の墓が二つある。一つは南東の海に向かって
 いるが、ほかの一つはこれに背を向けたように南の方に向かって
 いる。この南に向いている墓をヌバル墓と呼んでいる。昔、島尻に一晩のう
 ちなばるに南蛮に行って帰る女がいたという伝説があるが、その女を葬ってあるので
 ナバル墓と呼ばれ、時の経過の中でヌバル墓と変わってきたとの説がある。

これらの墓は、海石を箱形に積み上

げて屋根を石で覆った特殊な作りで、久米島の墓形を考える上で貴重である。

